

## 関数協 春を呼ぶ研究集会 in 土浦

2月19日(日)に、茨城県土浦市県南生涯学習センターを会場に、春を呼ぶ研究集会が行われた。

参加者は51名で、何人もの大学生や教職に就いたばかりという若い先生方もおり、内容とも相まって楽しい集会になった。



午前中の実践交流では次の報告があった。

小学校「お話算数」 森川一郎氏 (神奈川県)  
「私の授業をつくる  
～退職10年目のこの1年間～」

藤枝美智子氏 (長野県)  
中学校「これでスッキリ代数和」 大谷公人(長野県)  
高校 「数学Aの指導について 一整数の性質を中心」  
江藤邦彦氏(埼玉県)



中学分科会の中では、現役を退職された先生が、現役時代にたくさん作った教具をもとに、現役の先生方のために教師が使う教具を作っているのです、相談していただければ手作りします、というような嬉しい報告もあった。

【連絡、相談先】徳重洋さん。  
tokushige3898@yahoo.co.jp

### 対談 「授業を創るヒケツ」 齊藤美穂氏(茨城)&足立久美子氏(東京)

現在育児休業中で4月から現場復帰をする齊藤さんと齊藤さんの元同僚で齊藤さんの実践の基になっている実践をしてきた足立さんとの対談。

家紋作りや手作り絵本、エクセルを使っての模様作り等の作品を示しながら、過去の実践を振り返った。(右上は当日のレジュメ。AMIの文字を連鶴で作ってある。)



### 口演「数学の面白がり方」吉田勉氏(新潟)

「湯たり亭せん好」という芸名を持っている吉田氏の口演。聴く人の心をつかむ語りのうまさど次から次へと紹介される教材教具に時間を忘れた。

- ・ビー玉コロコロ
- ・ソーラークッカー
- ・5!を見る
- ・落語と数学 等々



その中で絵本の紹介もあった。特にオススメは、

#### 『壺の中』著者・安野光雅(童話屋)

なお、今回の参加者の中には、絵本に出てくる壺を「私は4つ持っています。1つおゆずりしてもいいですよ」(感想アンケートから)という強者もいた。

#### 【参加者の感想から】

- ・数学用語と演算記号の区別、トランプゲームでの「引く」という言葉等何気なく使っていたが、指摘された通り気を付けて説明しなければならないと思いました。
- ・黒板、チョークで教師がしゃべるだけの授業ばかりではいけないと、数教協の研究会に来る度に思います。
- ・吉田さんのお話はお上手で、うらやましいです(同業者として)。絵本で数学関係の物が何種類も出ているのは知らなかったもので、本屋に行ってさっそく購入しようと思います。
- ・授業を創るヒケツはやはり教師が楽しむことにあるとよくわかりました。私もいっぱい楽しみたいと思います。



(報告 大谷公人  
・関数協事務局)